

健001	項目名	夜間休日急患診療所運営委託費等
------	-----	-----------------

主要な施策	夜間休日急患診療所運営委託費等	ページ	33
-------	-----------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課
-----	-----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	保健衛生総務費

当初予算額	38,595
-------	--------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	38,595
-------	--------

本年度決算額	38,594
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	38,594
計	38,594

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】連携係 0857-20-3914  【9次総の施策体系】3102  【予算計上の経過】  予算事業別概要目次  当初予算・P82（健001）</p> <p>【事業の概要】  夜間及び日曜、祝日等の休日に、急な診察を必要とする1次救急（軽傷）患者が診察を受けられるよう、急患診療所の運営を東部医師会へ委託。</p> <p>【事業の成果】  日々、夜間及び日曜、祝日等の休日に、急な診察を必要とする患者が診察を受けられるよう、急患診療所の運営を鳥取県東部医師会へ委託し、住民サービスの向上を図る。また1次救急患者の受入れ促進を図り、2次および3次救急体制の負担軽減を図る。</p> <p>≪事業の内容・実績≫  （内容）夜間、休日等における急患診療体制を整備する。  ・委託先：鳥取県東部医師会  ・診療科目：内科、小児科  ・診察時間：  &lt;内科・小児科&gt; 夜間…通年（365日） 午後7時から午後10時まで  休日…日曜日及び祝日並びに12月30日から翌年の1月3日  午前9時から午後5時まで  ・実施場所：鳥取県東部医師会急患診療所（鳥取市富安1丁目58番地1）</p> <p>（患者実績）  平成23年度実績 夜間 7,928人 休日 4,944人  平成24年度実績 夜間 8,789人 休日 5,960人  平成25年度実績 夜間 9,457人 休日 7,061人</p> <p>【今後の課題・方向性】市報、新聞等の広報活動もあり利用年も年々増加している。引き続き1次救急体制を整備しさらなる周知を図っていく。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	38,495

評価結果	引き続き事業継続し、夜間及び日曜、祝日等の1次救急診療体制の継続に努める。
------	---------------------------------------

健002	項目名	休日急患歯科診療所運営費負担金
------	-----	-----------------

主要な施策	休日急患歯科診療所運営負担金	ページ	33	所属名
-------	----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	保健衛生総務費

(単位:千円)	
当初予算額	1,383

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,383
-------	-------

本年度決算額	1,383
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,383
計	1,383

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】 連携係 0857-20-3914  
【9次総の施策体系】 3102  
【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P82 (健002)  
【事業の概要】  
 県東部広域行政管理組合が業務委託する休日急患歯科診療所の負担金支出。  
 按分率は利用実績8：人口2  
【事業の成果】  
 休日等の歯科診療を充実させ、市民サービスの向上に努める。  
 ≪事業の内容・実績≫  
 (内容)  
 休日等において歯科診療が受けられる体制を整備する。  
 ・委託先：鳥取県東部歯科医師会  
 ・診療日：日曜日及び祝日等の休日、盆、12月29日から翌年の1月3日  
 ・診療時間：午前10時から午後4時まで  
 ・診療場所：休日急患歯科診療所（歯科技工専門学校内）  
 （鳥取市富安2丁目84番地）  
 (決算額)  
 平成23年度実績 1,348,000円（負担金（運営費））  
 平成24年度実績 1,404,000円（負担金（運営費））  
 平成25年度実績 1,383,000円（負担金（運営費））  
 (患者実績)  
 平成23年度 739人（鳥取市 600人、市外 139人）  
 平成24年度 857人（鳥取市 697人、市外 160人）  
 平成25年度 764人（鳥取市 639人、市外 125人）  
【今後の課題・方向性】  
 引き続き、体制の整備に努める。

(参考)	
前年度決算額	1,404

評価結果	東部広域で実施すべきと考え、負担を継続する。
------	------------------------

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課
-----	-----------------------------

健003	項目名	病院群輪番制病院設備整備事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	病院群輪番制病院設備整備事業費	ページ	33	所属名
-------	-----------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	保健衛生総務費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	58,565
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	58,565
-------	--------

本年度決算額	56,916
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	38,920
地方債	0
その他	184
一般財源	17,812
計	56,916

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	184
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】連携係 0857-20-3914  
【9次総の施策体系】3102  
【予算計上の経過】予算事業別概要目次 6月補正予算・P10(健002)  
【事業の概要】  
二次救急病院(病院群輪番制病院)として一次救急病院(夜間休日急患診療所)からの紹介患者、傷病者及び救急患者の診察に対応するためには、医療機器整備は常に点検、更新をして一定の高いレベルを保つ必要がある。  
【事業の成果】  
必要な機器を更新し、救急患者の受け入れ態勢を整備することにより、本市の救急体制の充実が図られまた、救急担当医の負担軽減につながる。  
<<事業内容・実績>>  
(内容)・病院群輪番制病院の医療機器新規購入、更新に対して補助金を交付する。  
・県へ各病院の事業計画書を提出し、国の内示により補助金額が決定する。  
・補助金の負担区分は国1/3、県1/3、市1/3。  
・補助金額の上限は1病院につき21,000,000円  
(実績)  
平成23年度実績(平成22年度繰越分) 1,365,000円(鳥取生協病院)  
平成24年度実績 25,620,000円  
内訳:鳥取生協病院 12,810,000円  
鳥取赤十字病院 12,810,000円  
平成25年度実績  
(平成24年度からの繰越分) 16,380,000円  
内訳:鳥取生協病院 8,190,000円  
鳥取赤十字病院 8,190,000円  
平成25年度実績 40,351,000円  
内訳:鳥取生協病院 19,351,000円  
鳥取赤十字病院 21,000,000円  
【今後の課題・方向性】  
引き続き、救急診療体制を整え市民サービスの向上に努める。

(参考)	
前年度決算額	25,620

評価結果	引き続き病院群輪番制病院の診療体制を整え、市民サービスの向上に努める。
------	-------------------------------------

福祉保健部健康・子育て推進局  
保健医療福祉連携課

健004	項目名	市民健康手帳導入事業費
------	-----	-------------

主要な施策	市民健康手帳導入事業費	ページ	33	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	保健衛生総務費

(単位:千円)	
当初予算額	4,559

補正予算額	△ 707
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,852
-------	-------

本年度決算額	3,745
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	106
地方債	0
その他	0
一般財源	3,639
計	3,745

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】連携係 0857-20-3914  
【9次総の施策体系】3102  
【予算計上の経過】予算事業別概要目次 当初予算・P83（健003）

【事業の概要】  
市民の健康への関心を高め、自己の健康づくりの推進のため、新しい市民健康手帳の導入した。

【事業の成果】  
市民健康手帳を配布、活用を促すことで自己の健康管理を促し疾病予防へつなげる。

≪事業の内容・実績≫  
(内容) 市民健康手帳を作成し、配布する。  
(実績)  
平成22年度及び23年度  
・庁内会議にて手帳配布対象者、掲載内容等を検討した。  
平成24年度  
・平成24年11月に8,000部作成した。  
配布内訳は40歳、60歳到達の市民へ郵送約5,600部。残りを窓口等で希望者へ配布約2,400部。  
・今後の手帳の更なる普及の参考に手帳の活用モニターを募集した。  
平成25年度  
・平成25年8月に10,000部作成した。  
配布内訳は40歳、60歳到達の市民へ郵送約5,600部。人間ドック、特定保健指導時に配布約800部。地域の教育、相談時に配布約1,600部。その他若干数

【今後の課題・方向性】  
引き続き市民健康手帳の発行を継続し、更なる普及に努める。

(参考)	
前年度決算額	3,173

評価結果	特定年齢到達者への送付は引き続き実施するが、人間ドックの申込時等に発行している随時分については、対象者が重複していくため段階的に作成数量を縮減していく。
------	--

福祉保健部健康・子育て推進局  
保健医療福祉連携課

健005	項目名	看護職員実習指導者養成支援事業費
------	-----	------------------

主要な施策	看護職員実習指導者養成支援事業費	ページ	33	所属名
-------	------------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	保健衛生費
目	保健衛生総務費

(単位:千円)	
当初予算額	4,500

補正予算額	513
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	5,013
-------	-------

本年度決算額	4,342
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	4,342
計	4,342

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】連携係 0857-20-3914

【9次総の施策体系】3101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P83 (健004)

【事業の概要】  
 鳥取市では市民の健康を守る上でも現在及び将来にわたっての看護師不足解消のため、新たな看護師養成所の誘致に取り組んでいる。

【事業の成果】  
 実習指導者養成講習会の受講支援をすることにより、看護師養成所の新設への課題の一つである実習病院の不足解消につなげる。  
 ≪事業の内容・実績≫  
 (内容)  
 ・県が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関に受講者の受講期間(約2か月)の基本給の一部を補助する。  
 ・受講者1人につき30万円を上限とする。  
 ・鳥取市単独の補助事業。  
 (実績)  
 平成25年度実績 補助対象者数 20人  
 補助金額 4,342,000円

【今後の課題・方向性】  
 ・今後の看護師養成所誘致の進捗状況、鳥取県の支援状況等を踏まえて再度検討する。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	看護師等養成所の臨地実習を行う機関の看護職員実習指導者の確保を図り、臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業を継続する。学生実習がピークとなる平成29年度までの継続は必要不可欠と考える。
------	---

福祉保健部健康・子育て推進局  
 保健医療福祉連携課

健006	項目名	健康診査費
------	-----	-------

主要な施策	健康増進事業費	ページ	33
-------	---------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課
-----	-----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

【問合せ先】総合健診係 0857-20-0320  
【9次総の施策体系】3102  
【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P84（健005）  
【事業の概要】  
健康増進法に基づき各種健康診査を実施し、健康意識の高揚、生活習慣改善・疾病の早期発見・早期治療を図る。  
【事業の成果】受診者数（受診率）\*但し子宮・乳は2年に1回受診者の割合

胃がん検診	平成23年度	14,444人	(25.7%)
	平成24年度	15,329人	(26.7%)
	平成25年度	15,659人	(27.3%)
肺がん検診	平成23年度	16,098人	(28.6%)
	平成24年度	16,917人	(29.5%)
	平成25年度	16,930人	(29.5%)
大腸がん検診	平成23年度	15,772人	(28.1%)
	平成24年度	16,619人	(28.9%)
	平成25年度	16,862人	(29.4%)
乳がん検診	平成23年度	5,092人	(26.2%)
	平成24年度	5,158人	(26.5%)
	平成25年度	5,079人	(26.3%)
子宮がん検診	平成23年度	7,957人	(27.1%)
	平成24年度	8,558人	(28.6%)
	平成25年度	8,385人	(29.3%)

【今後の課題・方向性】  
平成26年度から特定年齢対象者（41歳、46歳、51歳、56歳、61歳）に対し、全てのがん検診が無料となるクーポン券を配布し、さらなる受診率向上を目指す。

(単位:千円)

当初予算額	393,441
-------	---------

補正予算額	7,007
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	400,448
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	42,531
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	380,531
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	19,215
地方債	0
その他	42,531
一般財源	318,785
計	380,531

(参考)

前年度決算額	368,019
--------	---------

評価結果	がん対策は、国をあげて取り組んでいるところであり、今後も受診率向上に努める必要がある。
------	---

健007	項目名	骨粗しょう症予防対策事業費
------	-----	---------------

主要な施策	骨粗しょう症予防対策事業費	ページ	33
-------	---------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課
-----	-----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

当初予算額	2,363
-------	-------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,363
-------	-------

本年度決算額	2,328
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	254
地方債	0
その他	208
一般財源	1,866
計	2,328

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	208
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】総合健診係 0857-20-0320

【9次総の施策体系】3102

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P84（健006）

【事業の概要】

- 健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業、平成7年度より実施。
- 寝たきりの主な原因のひとつである骨折予防のため、25歳以上の女性に対して、骨量を測定し、適切な治療や食生活改善等を指導し、健康長寿を実現するために実施するもの。

【事業の成果】

平成24年度	1,472人受診
平成25年度	1,410人受診

【今後の課題・方向性】  
低年齢からのダイエット志向、食生活の偏り等により、若い人にも骨密度の低い者があり、若年者からの検診を推進していくよう啓発が必要である。

(参考)	
前年度決算額	2,528

評価結果	引き続き実施していく。
------	-------------

健008	項目名	脳ドック検診事業費
------	-----	-----------

主要な施策	脳ドック検診事業費	ページ	33
-------	-----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課
-----	-----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

【問合せ先】総合健診係 0857-20-0320

【9次総の施策体系】3101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P85（健007）

【事業の概要】  
 中高年齢層に発症するくも膜下出血や脳出血等の原因となる脳動脈瘤を早期に発見し、発症予防に役立てるために、40～70歳までの節目年齢の人（健康保険被扶養等）に実施する検診。

【事業の成果】  
 平成24年度 31人受診  
 平成25年度 39人受診

【今後の課題・方向性】  
 脳ドックの検査意義を浸透させていく。

(単位:千円)

当初予算額	794
-------	-----

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	794
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	536
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	536
計	536

(参考)

前年度決算額	435
--------	-----

評価結果	今後も事業の効果を検証しながら実施していく。
------	------------------------



健009	項目名	市立病院事業会計へ繰出
------	-----	-------------

主要な施策	市立病院事業会計へ繰出	ページ	35
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 保健医療福祉連携課
-----	-----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	他会計繰出
目	市立病院事業会計へ繰出

【問合せ先】連携係 0857-20-3914

【9次総の施策体系】3102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P85（健008）

【事業の概要】  
 鳥取市病院事業会計へ繰出

【事業の成果】  
 地方公営企業繰出基準（総務副大臣通知）に基づき、開設者が負担すべき経費を繰出し、経営基盤の強化を図る。

《実績》

平成23年度実績	1,434,418,000円
平成24年度実績	1,293,427,000円
平成25年度実績	1,327,040,000円

【今後の課題・方向性】  
 地方公営企業法等に定める経営に関する基本原則を堅持しながら経営の健全化を促進していく。

(単位:千円)

当初予算額	1,339,275
-------	-----------

補正予算額	△ 8,445
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,330,830
-------	-----------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	1,327,040
--------	-----------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,338
地方債	0
その他	0
一般財源	1,324,702
計	1,327,040

(参考)

前年度決算額	1,293,427
--------	-----------

評価結果	地方公営企業繰出基準（総務副大臣通知）に基づき、今後も開設者が負担すべき経費を繰出ししていく。
------	---

健010	項目名	児童扶養手当費
------	-----	---------

主要な施策	児童扶養手当費	ページ	31
-------	---------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)

当初予算額	874,555
補正予算額	12,851
予算流・充用額	0

最終予算額	887,406
-------	---------

本年度決算額	883,335
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	294,019
地方債	0
その他	1,779
一般財源	587,537
計	883,335

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	1,779
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】育成係 0857-20-3465</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P86(健009)、12月補正予算・P21(健003)</p> <p>【事業の概要】 離婚の増加によりひとり親家庭は増加している。平成22年度より父子家庭、平成24年度より配偶者からの暴力(DV)被害者も対象となった。 父親又は母親のいないひとり親家庭に手当を支給することで、その自立を扶助し、児童福祉の増進を図る。</p> <p>【事業の成果】 18歳未満の子を養育する父、母又は養育者に対して手当を支給。 全部支給 月額41,430円、一部支給 月額9,780円~41,420円 子二人目は5,000円加算、三人目以降3,000円加算 ※所得制限あり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受給者数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1,852人</td> <td>874,426千円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>1,900人</td> <td>874,516千円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>1,969人</td> <td>880,699千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 国の基準に準じて今後も継続して事業を実施する。</p>		受給者数	支給額	平成23年度	1,852人	874,426千円	平成24年度	1,900人	874,516千円	平成25年度	1,969人	880,699千円
	受給者数	支給額										
平成23年度	1,852人	874,426千円										
平成24年度	1,900人	874,516千円										
平成25年度	1,969人	880,699千円										

(参考)

前年度決算額	877,174
--------	---------

評価結果	国の基準に準じて継続実施する。
------	-----------------

健011	項目名	子育て支援短期利用事業費
------	-----	--------------

主要な施策	子育て支援短期利用事業費	ページ	31
-------	--------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	3,398

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,398
-------	-------

本年度決算額	3,117
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,300
地方債	0
その他	215
一般財源	1,602
計	3,117

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	215
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】育成係 0857-20-3465</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P86(健010)</p> <p>【事業の概要】 仕事、疾病、家庭の事情等で子育てが出来ないために、夜間、宿泊を伴う一時預かりを求める現状がある。 夜間、宿泊を伴う一時預かりを実施することで、保護者の負担軽減を図り、もって児童福祉の向上に資する。</p> <p>【事業の成果】 ショートステイ：宿泊を伴う一時預かり(最高7日間を限度)。 トワイライト：平日、休日の夜間(午後10時まで)の預かり。 委託先：鳥取こども学園、青谷こども学園 延べ日数                    ショート           トワイライト 平成23年度                539日           214日 平成24年度                301日           174日 平成25年度                481日           133日</p> <p>【今後の課題・方向性】 児童健全育成の環境を確保するため、今後も継続する必要がある。</p>
-------	--

(参考)	
前年度決算額	2,643

評価結果	保護者の養育支援や児童の健全育成の環境を確保するため、制度を継続して維持する。
------	---

健012	項目名	児童手当費
------	-----	-------

主要な施策	児童手当費	ページ	31
-------	-------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	3,063,923

補正予算額	65,377
-------	--------

予算流・充用額	△ 8
---------	-----

最終予算額	3,129,292
-------	-----------

本年度決算額	3,092,109
--------	-----------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,617,406
地方債	0
その他	0
一般財源	474,703
計	3,092,109

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】育成係 0857-20-3465</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P87(健011)、12月補正予算・P22(健005)</p> <p>【事業の概要】 平成24年4月より従前の「子ども手当」に代わり制度開始したもの。 児童を養育している人に手当を支給することにより、各家庭における子育て費用の負担軽減を図り、もって児童の健全育成につなげる。 対象：中学校修了前の児童 金額：3歳未満の子ども1人あたり月額15,000円、3歳以上小学校修了までの子ども1人あたり月額10,000円(第1子・2子)、3歳以上小学校修了までの子ども1人あたり月額15,000円(第3子以降)、中学生の子ども1人あたり月額10,000円</p> <p>【事業の成果】 子どもを養育している人に手当を支給することにより、各家庭における子育て費用の負担軽減を図り、子どもの健全育成につながる。 支給対象者 23,529人(平成25年度実績)</p> <p>【今後の課題・方向性】 制度に沿った支援を継続的に行い、子どもの健全育成に繋げる。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	3,168,516

評価結果	制度に沿った支援を継続的に行い、子どもの健全育成に繋げる。
------	-------------------------------

健013	項目名	母子家庭自立支援給付金事業費
------	-----	----------------

主要な施策	母子家庭自立支援給付金事業費	ページ	31
-------	----------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	母子福祉費

(単位:千円)	
当初予算額	22,980

補正予算額	△ 12,147
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	10,833
-------	--------

本年度決算額	10,833
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	8,124
地方債	0
その他	0
一般財源	2,709
計	10,833

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

【問合せ先】育成係 0857-20-3465

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P88（健013）

【事業の概要】  
 母子家庭において、就職に有利な資格を取得する場合には期間がかかり、その間の生活費の不安から資格取得に取組めない現状がある。  
 就職に有利で、かつ生活の安定につながる看護師、介護福祉士等国家資格取得養成機関在籍中、給付金を支給することにより、経済的な負担の軽減が図られ資格取得に打ち込める。

【事業の成果】  
 高等職業訓練促進費：看護師、介護福祉士等の国家資格取得のために養成機関に2年以上在籍する場合に給付金を支給。  
 平成23年度 22名  
 平成24年度 22名  
 平成25年度 10名（内新規入学者2名、卒業7名）

【今後の課題・方向性】  
 職業能力開発の講座受講料の助成と併せて継続的な取組みを行う。

(参考)	
前年度決算額	27,909

評価結果	就職に有利な資格を取得する期間の経済的な負担の軽減により、資格取得に打ち込めることが可能になる。職業能力開発の講座受講料の助成と併せて継続的な取組みを行う。
------	--

健014	項目名	市立保育園運営費
------	-----	----------

主要な施策	市立保育園運営費	ページ	31
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

(単位:千円)	
当初予算額	999,219

補正予算額	△ 49,620
-------	----------

予算流・充用額	△ 50
---------	------

最終予算額	949,549
-------	---------

本年度決算額	918,857
--------	---------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	70,289
	地方債	0
	その他	40,725
	一般財源	807,843
計		918,857

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	2,838
手数料	0
財産収入	117
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	37,770
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P88(健014)</p> <p>【事業の概要】 市立保育園29園の光熱水費など施設管理費、給食費、臨時保育士等の人件費などの支出。</p> <p>【事業の成果】 保育業務による子育て支援の実施。 市立保育園の円滑な運営。</p> <p>【今後の課題・方向性】 市立保育園の運営に要する経費の支出であり今後とも継続する必要がある。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	963,195

評価結果	市立保育園の運営に要する経費の支出であり今後とも継続する必要がある
------	-----------------------------------

健015	項目名	市立保育園特別保育事業費
------	-----	--------------

主要な施策	市立保育園運営費	ページ	31	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

(単位:千円)	
当初予算額	89,983

補正予算額	△ 1,297
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	88,686
-------	--------

本年度決算額	87,448
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	9,730
地方債	0
その他	7,364
一般財源	70,354
計	87,448

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	7,364
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】 保育係 0857-20-3464

【9次総の施策体系】 1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P89 (健015)

【事業の概要】  
 勤務時間の多様化により、保育時間の延長、休日の保育園利用の要望がある。利用者の要望に応えた保育業務を実施することで、仕事と子育てとの両立を支援し、安心して子育てができる環境の充実を図る。

【事業の成果】

- 延長保育：通常18時までの預かり時間を最長19時半まで延長するもの。  
 実施保育園17園（旧市×8、国府×2、福部×1、河原×1、用瀬×1、気高×2、鹿野×1、青谷×1）
- 一時保育：保護者の都合等で非入園児童の預かりを一日単位で行なうもの。  
 実施保育園5園（河原×1、用瀬×1、気高×1、鹿野×1、青谷×1、旧市は私立のみ4園が実施）
- 休日保育：日曜、祝日の保育要望に応えるもの。  
 実施保育園1園（千代保育園）

【今後の課題・方向性】  
 仕事と子育ての両立が図られるよう引き続き実施していく。

(参考)	
前年度決算額	89,790

評価結果	保護者の仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てができる環境を提供するため今後も継続する。
------	--

福祉保健部健康・子育て推進局  
 児童家庭課

健016	項目名	市立保育園運営委託費
------	-----	------------

主要な施策	市立保育園運営費	ページ	31
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

(単位:千円)	
当初予算額	274,270

補正予算額	△ 27,567
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	246,703
-------	---------

本年度決算額	236,682
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	6,804
地方債	0
その他	58,998
一般財源	170,880
計	236,682

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	58,998
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P89 (健016)</p> <p>【事業の概要】 大正保育園と久松保育園に指定管理者制度を導入して運営している。 指定管理者制度を導入することで、運営コストの軽減、保育ニーズの多様化への対応が図れる。</p> <p>【事業の成果】 平成24年度 保育園2園 (松保保育園・久松保育園) の運営委託。 平成25年度～ 保育園2園 (大正保育園・久松保育園) の運営委託。 松保保育園は民間移管。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度より久松保育園は民間へ譲渡し、新たに白兔保育園を指定管理とする。</p>
-------	---

(参考)	
前年度決算額	263,405

評価結果	民間の経営手法を活かして保育園運営を実施するため今後も継続する。
------	----------------------------------



健017	項目名	私立保育園運営費
------	-----	----------

主要な施策	私立保育園運営費	ページ	31
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

(単位:千円)	
当初予算額	2,372,722

補正予算額	△ 2,264
-------	---------

予算流・充用額	△ 2,013
---------	---------

最終予算額	2,368,445
-------	-----------

本年度決算額	2,322,494
--------	-----------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,167,396
地方債	0
その他	474,026
一般財源	681,072
計	2,322,494

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	474,026
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P90(健017)</p> <p>【事業の概要】 私立保育園は国の基準に基づいて運営費が定められており、入所児童数に応じた費用を支払うもの。</p> <p>【事業の成果】 私立保育園の安定的な運営が確保され、入所児童の環境向上に繋がった。 在園児童数、特別保育事業に基づく委託料の支払い。 特別保育事業・・・障がい児保育、乳児保育、延長保育等</p> <p>平成23年度 14園 園児数2,480人 委託料1,987,836千円 平成24年度 16園 園児数2,641人 委託料2,167,153千円 平成25年度 17園 園児数2,843人 委託料2,297,743千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 国が定める制度に基づき継続する。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	2,186,456

評価結果	国が定める制度に基づき継続する。
------	------------------

健018	項目名	保育士等処遇改善臨時特例事業費
------	-----	-----------------

主要な施策	私立保育園運営費	ページ	31
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

【問合せ先】 保育係 0857-20-3464

【9次総の施策体系】 1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 8月補正予算・P15（健002）

【事業の概要】  
 待機児童解消のため、保育所の整備等によって量的拡充が図られているところであるが、保育の担い手である保育士等の確保が課題となっている。  
 保育士等の人材確保対策の一環として、保育士等の処遇改善に取り組む保育所に助成を行い保育士等の確保を推進する。

【事業の成果】  
 私立保育所における職員平均勤続年数に応じて、保育所運営費の民間施設給与等改善費を基礎に、保育士等の処遇改善に要する費用を保育所に対して助成。  
 平成25年度 15園 補助額44,767千円

【今後の課題・方向性】  
 保育士等の人材確保のため必要な事業であり、国の制度に基づき今後も継続して事業を行っていく。

(単位:千円)

当初予算額	0
補正予算額	51,791
予算流・充用額	0

最終予算額	51,791
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	45,979
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	45,979
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	45,979

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	保育士等の人材確保のため必要な事業であり、今後も継続して事業を行っていく。
------	---------------------------------------

健019	項目名	低年齢児受入保育所保育士特別配置事業費補助金
------	-----	------------------------

主要な施策	私立保育園運営施設助成費	ページ	31
-------	--------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

(単位:千円)	
当初予算額	44,907

補正予算額	4,024
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	48,931
-------	--------

本年度決算額	47,104
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	30,752
地方債	0
その他	0
一般財源	16,352
計	47,104

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P90(健018)</p> <p>【事業の概要】 保育士1名が担当できる児童の数は国の基準で0歳児3名、1歳児6名と定められているが、年齢が1歳違うだけで保育士の負担が倍増する。また発達障がい児や気になる子への対応、保護者支援など保育士に求められる課題が多様化している。 1歳児が5人以上入園している保育園で、1人の保育士が担当する1歳児の人数が4.5人以下になるように配置している場合に補助金を交付するもの。 保育士の担当園児数が減ることによりきめ細かい保育の実施が確保される。</p> <p>【事業の成果】 補助基準額(月額) 1歳児受入れに係る国配置基準と県配置基準における保育士数の人役差×保育士人件費(月額)(正規職員:259,000円、非正規職員:148,500円) 実施保育園 17保育園 補助金額 平成23年度 36,680千円 平成24年度 38,981千円 平成25年度 47,104千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 保育の充実を図っていくうえで重要な事業であり今後も継続して実施する。</p>
-------	--

(参考)	
前年度決算額	38,981

評価結果	県の制度を利用して今後も継続する。
------	-------------------

健020	項目名	3歳児受入保育所保育士特別配置事業費補助金(私立分)
------	-----	----------------------------

主要な施策	私立保育園運営施設助成費	ページ	31
-------	--------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

(単位:千円)	
当初予算額	16,698

補正予算額	△ 1,639
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	15,059
-------	--------

本年度決算額	14,434
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	14,434
計	14,434

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P91(健019)</p> <p>【事業の経過及び背景】保育士1名が担当できる児童の数は国の基準で2歳児6名、3歳児20名と定められているが、年齢が1歳違うだけで保育士の負担が3倍超に増加する。また発達障がい児や気になる子への対応、保護者支援など保育士に求められる課題が多様化している。</p> <p>【事業の目的及び効果】保育士の担当園児数が減ることによりきめ細かい保育の実施が確保される。</p> <p>【事業の内容・実績】1人の保育士が担当する3歳児の人数が15人以下になるように配置している場合に補助金を交付。 補助基準額(月額) 3歳児受入に係る国配置基準と県配置基準における保育士数の人役差×保育士人件費(月額)(正規職員:259,000円、非正規職員:148,500円) 実施保育園 17保育園 補助金額 平成25年度 14,434千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 保育の充実を図っていくうえで重要な事業であり、低年齢児受入保育所保育士特別配置事業費補助金の中で、今後も継続して実施する。</p>
-------	--

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	保育の充実を図っていくうえで重要な事業であり今後も継続して実施する。
------	------------------------------------

健021	項目名	保育所緊急整備事業費補助金
------	-----	---------------

主要な施策	私立保育園運営施設助成費	ページ	31
-------	--------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

(単位:千円)	
当初予算額	0

補正予算額	123,143
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	123,143
-------	---------

本年度決算額	121,864
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	81,242
地方債	0
その他	0
一般財源	40,622
計	121,864

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 6月補正予算・P11 (健004)

【事業の概要】  
 近年、保育需要の増大とともに保育ニーズの低年齢化により保育園の収容力に不足が生じている一方で、幼稚園に入園する児童数が減少している。幼保連携施設による受入れなど、園児の受入れ体制の整備が求められている。  
 国の子育て支援対策として創設された「安心こども基金」による補助事業により、民間法人が行う保育所整備等に助成を行い、施設定員の増員による待機児童対策に資する。

【事業の成果】  
 整備内容：幼保連携型認定こども園開設のための施設整備、平成26年4月1日開園予定  
 ①鳥取第二幼稚園（学校法人 矢谷学園）  
 総事業費：183,456千円  
 助成額：113,267千円（うち県：75,511千円、市：37,756千円）  
 ②いなば幼稚園（学校法人 いなば幼稚園）  
 総事業費：11,464千円  
 助成額：8,597千円（うち県：5,731千円、市：2,866千円）

【今後の課題・方向性】  
 今後も園児の受け入れ体制の整備と待機児童対策として継続して事業を実施する。

(参考)	
前年度決算額	0

評価結果	民間法人の保育所施設の整備計画に応じて事業を実施
------	--------------------------

健022	項目名	保育園耐震改修等事業費
------	-----	-------------

主要な施策	保育園施設整備費	ページ	31
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P91（健020）

【事業の概要】  
 耐震診断の結果、耐震性の低い保育園の早期改築を行うことで、安心・安全な保育環境を整備し、併せて施設収容力を拡大することによる待機児童対策を行う。

【事業の内容・実績】  
 賀露保育園、富桑保育園の基本及び実施設計を実施。  
 （翌年度繰越額 33,737千円 賀露保育園用地造成工事）

【今後の課題・方向性】  
 引続き計画的に耐震改修を推進し、利用者の安全安心を確保する。

(単位:千円)

当初予算額	100,010
-------	---------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	5
---------	---

最終予算額	100,015
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	40
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	62,482
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	45,600
その他	40
一般財源	16,842
計	62,482

(参考)

前年度決算額	51,531
--------	--------

評価結果	計画的に耐震改修を進め、利用者の安全安心を確保する。
------	----------------------------

健023	項目名	佐治地域保育園施設整備費
------	-----	--------------

主要な施策	保育園施設整備費	ページ	31
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P92（健021）

【事業の概要】  
佐治地域にあるひまわり保育園、ふたば保育園の2園を統合し、佐治中学校跡地に新園舎を建設することで保育環境とサービスの充実を図る。  
さじ保育園 鳥取市佐治町古市 地内 定員60名  
建築面積662.83㎡

【事業の成果】  
平成24年度 基本設計及び実施設計。各種調査業務の実施。  
平成25年度 建築工事及び外構工事の実施。

【今後の課題・方向性】  
さじ保育園完成により事業終了。

(単位:千円)

当初予算額	254,835
補正予算額	0

予算流・充用額	5
---------	---

最終予算額	254,840
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	248,409
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	70,160
地方債	156,800
その他	0
一般財源	21,449
計	248,409

(参考)

前年度決算額	4,936
--------	-------

評価結果	さじ保育園完成により事業終了。
------	-----------------

健024	項目名	病児・病後児保育事業費
------	-----	-------------

主要な施策	病児・病後児保育事業費	ページ	32
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

【問合せ先】 保育係 0857-20-3464  
 【9次総の施策体系】 1101  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P92（健022）  
 【事業の概要】  
 ①病児保育事業（せいきょうこどもクリニック）  
 児童が病気の回復期に至らない場合で、当面の症状の急変が認められない場合において、通常保育とは別の専用施設で預かることにより、児童の健全育成と親の子育てと仕事との両立支援を図る。せいきょう病院で実施。  
 ②病後児保育事業  
 病気回復期で集団保育が出来ない児童を通常保育とは別の専用施設で預かることにより、児童の健全育成と親の子育てと仕事との両立支援を図る。  
 ③非施設型病児・病後児保育事業（NPO法人K i R A L i）  
 病気回復期で集団保育が出来ない児童を施設で預かるのではなく、子どもの家に保育者が伺い病児・病後児保育を行い、親の子育てと仕事との両立支援を図る。

	利用時間	利用料金
せいきょうこどもクリニック	8:00~18:00	2,500円/日（2回目以降1,000円）
市立病院	8:00~18:00	2,500円/日（2回目以降1,000円）
散岐保育園	8:30~17:30	500円/日
すくすく保育園	8:30~17:30	500円/日
ひかり保育園	8:30~17:30	500円/日
NPO法人K i R A L i	8:30~18:30	500円/時間（別途入会金、年会費）

【事業の成果】  
 平成23年度 1,419人 平成24年度 1,581人 平成25年度 1,708人  
 【今後の課題・方向性】  
 子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。

(単位:千円)

当初予算額	37,398
-------	--------

補正予算額	150
-------	-----

予算流・充用額	2,014
---------	-------

最終予算額	39,562
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	551
その他	0

本年度決算額	39,116
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	21,916
地方債	0
その他	551
一般財源	16,649
計	39,116

(参考)

前年度決算額	35,245
--------	--------

評価結果	子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。
------	--------------------------



健025	項目名	まちなか保育支援モデル事業費
------	-----	----------------

主要な施策	認可外保育園子育て支援事業費	ページ	32
-------	----------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

(単位:千円)	
当初予算額	2,924

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,924
-------	-------

本年度決算額	2,923
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	2,923
計	2,923

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P93 (健023)</p> <p>【事業の概要】 本市の待機児童対策、中心市街地のにぎわい創出を図るための新たなモデル事業としてまちなか保育モデル事業を実施する。 ①補助対象者：社団法人 地域サポートネットワークとっとり ②まちなか保育所コモド園（認可外保育施設 平成23年8月開設）の運営費補助 ③内容 ・定員：9名（0～2歳対象） ・開所時間：平日・土曜7:30～18:00 ・職員体制：保育所基準に準じて配置 ・料金：保育料：40,000円（月額 給食費含む）、託児料：600円（1時間）</p> <p>【事業の成果】 保育事業と託児事業の年間受入れ児童数 平成23年度 522人 平成24年度 783人 平成25年度 764人</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も継続して支援していく。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	2,923

評価結果	今後も継続して支援を行う。
------	---------------

健026	項目名	幼児教育パワーアップ事業費
------	-----	---------------

主要な施策	幼児教育パワーアップ事業費	ページ	31
-------	---------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	保育所費

【問合せ先】指導係 0857-20-3462

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 6月補正予算・P12（健005）

【事業の概要】  
 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図るため、「幼保小連携カリキュラム」に基づき、園内研修の開催、公開研究会の開催などにより保育士の資質向上を図るとともに、各種交流等を取り入れた小学校との連携体制の充実を図る。

【事業の成果】  
 園内研修会や公開研究会、小学校との合同研修会の開催  
 保育園と小学校との交流事業の開催  
 ・すくすく保育園 ⇄ 青谷小学校  
 ・城北保育園 ⇄ 城北小学校 ⇄ 第二幼稚園  
 ・福部幼稚園 ⇄ 福部小学校

【今後の課題・方向性】  
 本事業は25年度で終了。  
 今後、この取り組みにより得られた成果を保育士の資質向上に繋げていく。

(単位:千円)

当初予算額	0
補正予算額	525

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	525
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	518
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	518
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	518

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	本事業は25年度で終了。 今後、この取り組みにより得られた成果を保育士の資質向上に繋げていく。
------	--

健027	項目名	母子生活支援施設運営費
------	-----	-------------

主要な施策	母子生活支援施設運営費	ページ	32
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	母子生活支援施設費

(単位:千円)	
当初予算額	73,808

補正予算額	160
-------	-----

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	73,968
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	188
使用料	235
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	19,905
その他	0

本年度決算額	73,964
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	31,681
	地方債	0
	その他	20,328
	一般財源	21,955
	計	73,964

【問合せ先】育成係 0857-20-3465

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P93 (健024)

【事業の概要】  
 離婚、DV等事情のある母子家庭の自立を支援するため、安全で安心して暮らせる住居が必要であり、そのため、鳥取市母子生活支援施設「つくし」を設置し、運営を(社福)鳥取福祉会に指定管理委託する。

【事業の成果】  
 18歳までの児童を養育或いはDV等特別な事業のある母子家庭に住居を提供することで、当該家庭が精神的にも経済的にも自立できるよう支援を図った。  
 ・鳥取市母子生活支援施設「つくし」の運営・・・20世帯入居可能  
 平成23年度入居世帯数 24世帯 60人  
 平成24年度入居世帯数 24世帯 60人  
 平成25年度入居世帯数 26世帯 67人

【今後の課題・方向性】  
 入居・支援を必要とする母子家庭のため運営を続ける。

(参考)	
前年度決算額	66,426

評価結果	母子家庭やDV等特別な事情のある家庭が自立を目指すために、安全で安心して暮らせる施設を提供するため継続して維持する必要がある。
------	---

健028	項目名	私立幼稚園就園奨励費補助金
------	-----	---------------

主要な施策	私立幼稚園就園奨励費補助金	ページ	44
-------	---------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	私立学校振興費

(単位:千円)	
当初予算額	93,624

補正予算額	△ 2,641
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	90,983
-------	--------

本年度決算額	89,640
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	21,516
地方債	0
その他	0
一般財源	68,124
計	89,640

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要	<p>【問合せ先】保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P94(健025)</p> <p>【事業の概要】 私立幼稚園への就園を促進するため、保護者の経済的負担の軽減する補助制度を設けている。保護者の経済的負担を軽減することで、幼稚園入園を促され、子どもが幼稚園での集団生活を経験すること等により社会性の発達に資するもの。</p> <p>【事業の成果】 私立幼稚園の入園料、保育料の一部について、市民税所得割の区分に応じて減免する幼稚園に対し補助金を交付。 また、今後も私立幼稚園における2歳児の就園促進を図るため、平成25年度より2歳児においても適用。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1,222人</td> <td>99,489千円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>1,109人</td> <td>88,478千円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>1,037人</td> <td>89,640千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 子育てしやすい環境促進のため継続して事業実施する。</p>		対象人数	補助金額	平成23年度	1,222人	99,489千円	平成24年度	1,109人	88,478千円	平成25年度	1,037人	89,640千円
	対象人数	補助金額											
平成23年度	1,222人	99,489千円											
平成24年度	1,109人	88,478千円											
平成25年度	1,037人	89,640千円											

(参考)	
前年度決算額	88,479

評価結果	子育てしやすい環境促進のため継続して事業実施する。
------	---------------------------

健029	項目名	私立幼稚園運営費補助金
------	-----	-------------

主要な施策	私立幼稚園運営費補助金	ページ	44
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	私立学校振興費

【問合せ先】 保育係 0857-20-3464

【9次総の施策体系】 1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P94（健026）

【事業の概要】  
 私立幼稚園への運営費の補助により、人件費等が運営経費に占める割合が低くなることで、幼児教育環境の整備・向上が促される。

【事業の成果】  
 補助総額の35%を均等割、55%を園児数割、10%を子育て支援割りとして計算した額を運営費として交付。21年度より2歳児受入実施園に対し1人あたり30千円を補助。  
 補助実績（私立幼稚園12園）  
 平成23年度 61,902千円  
 平成24年度 61,902千円  
 平成25年度 61,902千円

【今後の課題・方向性】  
 幼稚園の環境向上のため継続して実施していく。

(単位:千円)

当初予算額	61,902
補正予算額	0

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	61,902
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	61,902
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	61,902
計	61,902	

(参考)

前年度決算額	61,902
--------	--------

評価結果	幼稚園運営に必要な事業であり、今後も継続して取り組む。
------	-----------------------------

健030	項目名	私立幼稚園第3子保育料軽減子育て支援事業費補助金
------	-----	--------------------------

主要な施策	私立幼稚園第3子保育料軽減子育て支援事業費補助金	ページ	44
-------	--------------------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 児童家庭課
-----	-------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	教育総務費
目	私立学校振興費

(単位:千円)	
当初予算額	8,985

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	8,985
-------	-------

本年度決算額	8,344
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	8,344
計	8,344

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】保育係 0857-20-3464</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P95 (健027)</p> <p>【事業の概要】 多子世帯の幼稚園保育料を軽減することにより、経済的負担の軽減及び子育てしやすい環境づくりを促進する。 市内に在住し、私立幼稚園に在園する同一世帯の第3子以降に係る保育料を軽減する。 保護者が幼稚園に支払う保育料から「同時在園保育料軽減」及び「就園奨励費補助金」を控除した額（補助対象経費）に4分の1を乗じて得た額を交付するもの。 また、今後も私立幼稚園における2歳児の就園促進を図るため、平成25年度より2歳児においても適用する。</p> <p>【事業の成果】 (補助実績) 平成23年度 215人 8,551千円 平成24年度 204人 8,210千円 平成25年度 202人 8,344千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育てしやすい環境促進のため継続して事業実施する。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	8,210

評価結果	子育てしやすい環境促進のため継続して事業実施するものである。
------	--------------------------------

健031	項目名	公衆浴場確保対策補助金
------	-----	-------------

主要な施策	公衆浴場運営補助金	ページ	33
-------	-----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	保健衛生総務費

(単位:千円)	
当初予算額	2,172

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,172
-------	-------

本年度決算額	2,172
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	1,000
地方債	0
その他	0
一般財源	1,172
計	2,172

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】 予防係 0857-20-3191

【9次総の施策体系】 3201

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P95 (健028)

【事業の概要】  
 公衆浴場の運営費・施設整備費に対して県・市で助成することにより、公衆浴場の経営の安定を図り、地域住民の公衆衛生基盤を安定的に確保する。

【事業の成果】  
 4公衆浴場に対し公衆浴場確保対策補助金を交付した。  
 (補助対象公衆浴場)  
 宝温泉、木島温泉、合名会社元湯温泉、有限会社日乃丸温泉  
 (1公衆浴場あたりの助成限度額)  
 ・年間運営費補助 上限513千円/浴場 (県補助1/2)  
 ・利用促進事業 上限30千円/浴場

平成23年度決算額 3,132,000円 4公衆浴場(省エネ機器整備加算あり)  
 平成24年度決算額 2,307,178円 4公衆浴場(原油価格高騰対策加算あり)  
 平成25年度決算額 2,172,000円 4公衆浴場

【今後の課題・方向性】  
 公衆浴場の経営の安定を図り、市民の公衆衛生基盤を安定的に確保するため、今後とも運営費等への助成を継続していく。

(参考)	
前年度決算額	2,307

評価結果	公衆浴場の経営の安定を図り、市民の公衆衛生基盤を安定的に確保するため、今後とも運営費等への助成を継続していく。
------	---

健032	項目名	健康ひろば事業費
------	-----	----------

主要な施策	健康ひろば事業費	ページ	33
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

(単位:千円)	
当初予算額	1,250

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,250
-------	-------

本年度決算額	1,204
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,204
計	1,204

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【9次総の施策体系】 3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P96 (健029)</p> <p>【事業の概要】 市民一人ひとりが生涯を通じて、その人らしく健康で豊かな人生を送ることを目指して策定された「とっとり市民元気プラン2011」を推進するため、市民一人ひとりが健康づくりの意識と意欲を高め、主体的に取り組むきっかけづくりを目的とした健康づくり講演会等を実施する。  (1) 歯科講演会  (2) 健康づくり講演会  (3) しゃんしゃん体操実演  (4) 健康相談コーナーの設置  内科相談・血圧自己測定・栄養相談・簡易血糖検査等  (5) 展示・地元特産物の販売、等</p> <p>【事業の成果】  平成23年度 決算額 1,423,872円 来場者 約900名  平成24年度 決算額 1,247,784円 来場者 約350名  平成25年度 決算額 1,204,461円 来場者 約600名  (平成25年11月23日(土)鳥取市民会館)</p> <p>【今後の課題・方向性】  社会状況やアンケートによる市民の要望を考慮して内容を毎回見直し、継続して実施する。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	1,248

評価結果	健康ひろば事業は、本年度第30回の開催となり、アンケート結果など市民ニーズをとらえながら改善し、健康づくりの市民への啓発活動等一定の成果を上げてきた。今後、関係団体の活動の場として活用するなど事業の在り方を検討しながら継続する必要がある。
------	---



健033	項目名	食生活改善事業費
------	-----	----------

主要な施策	食育活動等推進事業費	ページ	33
-------	------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

(単位:千円)	
当初予算額	3,680

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	3,680
-------	-------

本年度決算額	3,073
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,073
計	3,073

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P96（健030）</p> <p>【事業の概要】 生活習慣病予防のための知識を習得し、家族、地域の食生活改善、健康づくりの実践を推進するため、平成9年度より食生活改善推進員養成講座を実施。 養成講座修了生で組織される鳥取市食生活改善推進員連絡協議会に、地域における食生活改善地区活動事業を委託し、生活習慣病の予防を啓発。</p> <p>【事業の成果】 増加する生活習慣病予防に最も重要である食生活の改善を広く普及し、生活習慣病予防、健康づくりの推進につなげた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>地区伝達講習会（回数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>3,680,304円</td> <td>412回</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>3,770,993円</td> <td>377回</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>3,072,817円</td> <td>320回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 「食」に関する情報が多い中、食生活改善推進員の養成と食生活改善推進員の地区活動を通して、確かな知識の普及に継続して取り組んでいくとともに、食生活改善推進員連絡協議会及び各支部における伝達講習会等、活動が円滑に推進できるよう支援をしていく。</p>		決算額	地区伝達講習会（回数）	平成23年度	3,680,304円	412回	平成24年度	3,770,993円	377回	平成25年度	3,072,817円	320回
	決算額	地区伝達講習会（回数）										
平成23年度	3,680,304円	412回										
平成24年度	3,770,993円	377回										
平成25年度	3,072,817円	320回										

(参考)	
前年度決算額	3,771

評価結果	「食」の多様化に伴い、生活習慣病の増加や「食」に関する情報が多い中、食生活改善推進員の養成を行い、確かな知識の普及につなげ、また、食生活改善推進員の地区での活動を円滑に実施できるよう支援をし、食生活改善推進員が市民へ継続して啓発に取り組むことで、市民の疾病予防につなげていく。
------	--

健034	項目名	成人栄養改善事業費
------	-----	-----------

主要な施策	食育活動等推進事業費	ページ	33
-------	------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

【問合せ先】食育推進係 0857-20-3192

【9次総の施策体系】3102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P97（健031）

(単位:千円)

当初予算額	560
-------	-----

【事業の概要】  
 生活習慣病（がん、糖尿病など）の増加に伴い、平成17年度より栄養セミナー、平成18年度より糖尿病食生活教室、平成22年度より減塩教室を開催し、予防啓発につなげる。

補正予算額	0
-------	---

【事業の成果】  
 不適切な食習慣や運動不足による生活習慣病の増加が重要な課題になっている。これらに対処するため、各地域での栄養改善に関する健康教育、健康相談を実施することにより、地域住民の健康づくりおよび生活習慣病の発症予防、重症化予防を推進することができた。

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	560
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	485
--------	-----

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
・栄養セミナー（平日）	3回シリーズ×2	3回シリーズ×2	3回シリーズ×1
・糖尿病食生活教室（平日）	4回シリーズ×1	4回シリーズ×1	4回シリーズ×1
（土曜日）	3回シリーズ×1	3回シリーズ×1	4回シリーズ×1
・減塩教室（平日）	2回シリーズ×1	2回シリーズ×1	2回シリーズ×1
・決算額	514,491円	487,423円	484,987円

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	485
計	485

【今後の課題・方向性】  
 生活習慣病の発症には「食」に起因する疾病が多く、一人でも多くの市民の生活習慣病の発症予防および重症化予防につなげるため、個人に合わせた支援をしていく。

(参考)

前年度決算額	487
--------	-----

評価結果	生活習慣病の発症予防及び重症化予防には食生活改善が大変重要であり、今後も対象者に合わせた支援をしていく必要がある。
------	---

健035	項目名	母子栄養改善事業費
------	-----	-----------

主要な施策	食育活動等推進事業費	ページ	33
-------	------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

(単位:千円)	
当初予算額	1,029

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,029
-------	-------

本年度決算額	974
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	974
計	974

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】食育推進係 0857-20-3192

【9次総の施策体系】3102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P97(健032)

【事業の概要】  
 乳幼児期の食のあり方は、健康的な食習慣を定着させる大切な時期であるが、育児不安の要因の一つにもなっている。そのため、従来より実施している「離乳食講習会」に加え平成18年度より幼児期を対象とした「食育教室」を実施している。

【事業の成果】  
 乳幼児期より日本的な食文化や食材に触れる機会を増やすことで、規則正しい食習慣が身につき、健やかな心と体の成長、保護者の不安軽減につながっている。

	決算額	離乳食講習会	食育教室
平成23年度	1,017,263円	48回	79回
平成24年度	991,850円	48回	67回
平成25年度	974,520円	39回	45回

【今後の課題・方向性】  
 生涯の健康維持には、乳幼児期からの健康的な食習慣の定着が必要である。引き続き、健全な食生活が実践できるよう対象者に合わせた支援をしていく。

(参考)	
前年度決算額	992

評価結果	実習や講話を通して、乳幼児期からの食生活の大切さを伝えることにより、食生活改善に寄与していると考え、今後も対象者に合わせた支援をしていく必要がある。
------	--

健036	項目名	在宅高齢者歯科対策事業費
------	-----	--------------

主要な施策	在宅高齢者歯科対策事業費	ページ	33
-------	--------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

(単位:千円)	
当初予算額	2,691

補正予算額	△ 465
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	2,226
-------	-------

本年度決算額	2,084
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	665
地方債	0
その他	0
一般財源	1,419
計	2,084

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P98 (健033)</p> <p>【事業の概要】 生活の質の向上につながる大切な要因となる口腔状態を改善することで在宅で寝たきりの高齢者及び介護者の口腔衛生への関心の喚起へとつなげ、介護予防を図る。</p> <p>【事業の成果】 通院困難な在宅及び通所サービス利用者が歯科医師による歯科相談を実施することで、適切な口腔管理につながり、家族や施設職員も口腔ケアに対する意識を高めることができた。</p> <p>平成23年度 決算額 2,469,842円 利用者 317人 平成24年度 決算額 2,446,750円 利用者 345人 平成25年度 決算額 2,083,832円 利用者 293人</p> <p>【今後の課題・方向性】 通院困難な在宅及び通所サービス利用者が歯科医師による歯科相談を実施することで、適切な口腔管理につながり、家族や施設職員も口腔ケアに対する関心を喚起するために継続実施する。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	2,447

評価結果	通院困難な在宅高齢者及び通所サービス利用者に口腔状態を知る機会を提供することで、本人や家族、関係職員の歯科に対する関心を喚起し、併せて相談できる体制を確保するために継続実施する。
------	---

健037	項目名	ふしめ歯科検診事業費
------	-----	------------

主要な施策	ふしめ歯科検診事業費	ページ	33
-------	------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

(単位:千円)	
当初予算額	408

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	408
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	274
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	154
地方債	0
その他	0
一般財源	120
計	274

【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194

【9次総の施策体系】3102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P98 (健034)

【事業の概要】  
 40、50、60、70歳に達する者の10歳ごとのふしめ年齢の人に対して  
 鳥取県歯科医師会に委託して歯科検診を実施。

【事業の成果】  
 平成23年度 決算額 368,421円 受診者 214人  
 平成24年度 決算額 263,637円 受診者 140人  
 平成25年度 決算額 273,713円 受診者 140人

【今後の課題・方向性】  
 今後も市民に対して歯科保健の重要性を一層啓発し、受診者の増加を図っていく。

(参考)	
前年度決算額	264

評価結果	市民に対して歯科保健の重要性を一層啓発し、受診者の増加を図る。
------	---------------------------------

健038	項目名	地域自殺対策緊急強化事業費
------	-----	---------------

主要な施策	地域自殺対策緊急強化事業費	ページ	33
-------	---------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	健康対策費

(単位:千円)

当初予算額	554
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	554
本年度決算額	398

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	398
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	398

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】健康づくり係 0857-20-3194</p> <p>【9次総の施策体系】3102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P99 (健035)</p> <p>【事業の概要】 国は都道府県に平成21年から「地域自殺対策緊急強化基金」を造成した。これを受けて本市でも自殺予防のための人材育成・普及啓発を行い、支援の必要な人を早期に発見して適切な相談・医療機関に繋ぐことができることを目的に、自殺を防止する各種の事業を行ってきた。電話等での相談も増え、必要に応じて他機関との連携を行い、悩む人の支援を行っているところである。</p> <p>【事業の成果】 平成23年度 決算額 1,041,000円 平成24年度 決算額 503,161円 平成25年度 決算額 398,348円</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域で自殺対策を進めるための普及啓発や、早期発見をして適切な医療機関に結びつけるための人材育成など、引き続き対策を行う。</p>
--

(参考)

前年度決算額	503
--------	-----

評価結果	地域で自殺対策を進めるための普及啓発、早期発見をして適切な医療機関に結び付けるための人材育成等、対策を継続する。
------	--

健039	項目名	母子保健訪問指導事業費
------	-----	-------------

主要な施策	母子保健訪問指導事業費	ページ	33
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	6,155

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	6,155
-------	-------

本年度決算額	5,610
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,804
地方債	0
その他	0
一般財源	2,806
計	5,610

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P99 (健036)</p> <p>【事業の概要】 子どもの健やかな成長と子育てを支援するために、母子保健法に基づく新生児訪問指導併せて児童福祉法に基づく「こんにちは赤ちゃん事業」として実施。生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する不安や相談等に応じたり、情報提供を行う。</p> <p>【事業の成果】 保健師及び委託した母子保健推進員が産婦及び新生児の家庭を訪問し保健指導を行うことにより、子育てに関する不安を軽減し、その後の適切な育児へとつなげることができた。</p> <p>平成23年度 産婦 1,567人 新生児 1,647人 決算額 6,449,660円</p> <p>平成24年度 産婦 1,551人 新生児 1,553人 決算額 5,476,825円</p> <p>平成25年度 産婦 1,578人 新生児 1,597人 決算額 5,609,751円</p> <p>【今後の課題・方向性】 事業の周知に努めるとともに全数訪問を目指して継続実施する。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	5,477

評価結果	新生児期や乳幼児期の子どもを持つ家庭へのサポートを効率的かつ確実に実施するために今後も事業を継続する。
------	---

健040	項目名	妊婦健康診査費
------	-----	---------

主要な施策	妊婦健康診査費	ページ	33
-------	---------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	145,697

補正予算額	3,486
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	149,183
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	143,328
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	3,314
地方債	0
その他	0
一般財源	140,014
計	143,328

【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P100 (健037)

【事業の概要】  
母子手帳交付時にあわせて妊婦一般健康診査受診票を交付する。  
交付枚数は、妊娠全期を通して14枚、平成23年からはクラミジア検査を1枚追加交付する。ただし、多胎妊娠妊婦には左記に加えて5枚分を追加で交付する。

【事業の成果】  
妊娠中の異常の早期発見や疾病予防のために、定期的な妊婦健康診査を受けることが必要である。妊婦健康診査費の一部を助成することで経済的負担の軽減を図り、妊婦健診を受けやすくし、安心して出産をむかえられるよう支援した。

平成23年度 一般 延23,431人 多胎 延41人  
決算額 150,377,409円

平成24年度 一般 延22,077人 多胎 延29人  
決算額 143,668,084円

平成25年度 一般 延22,145人 多胎 延23人  
決算額 143,327,978円

【今後の課題・方向性】  
妊婦健康診査の重要性について周知しながら継続実施する。

(参考)

前年度決算額	143,668
--------	---------

評価結果	妊婦と胎児の健康を確保するために、妊婦が安心して健診を受けられる体制を継続実施していくことは重要である。
------	--



健041	項目名	乳児健康診査費
------	-----	---------

主要な施策	乳児健康診査費	ページ	34
-------	---------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P100（健038）

【事業の概要】  
 母子保健法に基づく健康診査として、3～4ヶ月健診・9～10ヶ月児健診の受診券を発行し医療機関委託で実施する。

【事業の成果】  
 成長発達の確認や疾病の早期発見をし、適切な指導を行い、乳児の健康の保持増進を図ることができた。

平成23年度	受診者数	3,213人	決算額	18,583,021円
平成24年度	受診者数	3,233人	決算額	18,725,366円
平成25年度	受診者数	3,009人	決算額	17,383,048円

【今後の課題・方向性】  
 乳児健康診査の効果的な推進について検討しながら継続実施する。

(単位:千円)

当初予算額	17,931
補正予算額	39
予算流・充用額	0

最終予算額	17,970
本年度決算額	17,383

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	17,383
計	17,383	

(参考)

前年度決算額	18,725
--------	--------

評価結果	母子保健法に基づく健康診査で、鳥取県下統一した実施方法で行っている。継続実施が必要である。
------	---

健042	項目名	6か月児健康診査費
------	-----	-----------

主要な施策	6か月児健康診査費	ページ	34	所属名
-------	-----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	2,764

補正予算額	207
-------	-----

予算流・充用額	13
---------	----

最終予算額	2,984
-------	-------

本年度決算額	2,968
--------	-------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,968
計	2,968	

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P101 (健040)

【事業の概要】  
 乳児期の健康保持増進を図るためには、定期的に健康診査を受け健康状態を明らかにする必要がある。母子保健法に基づく健康診査。  
 身体計測・小児科医の診察  
 栄養指導(栄養士)・保健指導(保健師)  
 絵本の読み聞かせ、ブックスタートパックの配布

【事業の成果】  
 6か月児に健康診査を行い、成長発達の確認や疾病の早期発見をし、適切な指導を行うことで、6か月児の心身の健やかな成長を図ることができた。

平成23年度	受診者数	1,732人	決算額	2,689,595円
平成24年度	受診者数	1,702人	決算額	2,845,360円
平成25年度	受診者数	1,596人	決算額	2,968,217円

【今後の課題・方向性】  
 子どもの成長、発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており今後も継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	2,845

評価結果	子どもの成長、発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており、今後も継続して実施する。
------	--

福祉保健部健康・子育て推進局  
 中央保健センター

健043	項目名	1歳6か月児健康診査費
------	-----	-------------

主要な施策	1歳6か月児健康診査費	ページ	34
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	4,462

補正予算額	129
-------	-----

予算流・充用額	60
---------	----

最終予算額	4,651
-------	-------

本年度決算額	4,533
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	4,533
計	4,533

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P101 (健040)</p> <p>【事業の概要】 母子保健法第12条に基づく市町村の義務健診。 身体計測、小児科医師・歯科医師の診察、歯磨き指導、発達相談、栄養相談、育児相談を実施。</p> <p>【事業の成果】 1歳6ヶ月の頃は単語を発したり、歩くことができるようになる大切な時期である。 この時期に子どもの成長、発達の確認と、生活習慣への働きかけ、虫歯予防、食事、その他育児等に関する支援ができた。</p> <p>平成23年度 受診者数 1,654人 決算額 4,336,213円 平成24年度 受診者数 1,722人 決算額 4,135,848円 平成25年度 受診者数 1,729人 決算額 4,532,581円</p> <p>【今後の課題・方向性】 子どもの成長、発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており今後も継続実施する。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	4,136

評価結果	子どもの成長、発達の確認とともに、子育て支援としても重要な役割を担っており今後も継続実施する。
------	---

健044	項目名	3歳児健康診査費
------	-----	----------

主要な施策	3歳児健康診査費	ページ	34
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	6,688

補正予算額	97
-------	----

予算流・充用額	△ 59
---------	------

最終予算額	6,726
-------	-------

本年度決算額	6,430
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	6,430
計	6,430

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P102(健042)</p> <p>【事業の概要】 母子保健法第12条に基づく市町村の義務健診。 問診、尿検査、視力検査、聴力検査、身体計測、小児科医師・歯科医師の健診、はみがき指導、保健指導、栄養相談、発達相談、育児相談を実施。</p> <p>【事業の成果】 幼児の健康・発達の個人的差異が明らかになる3歳児に対して健康診査を実施することにより、視覚・聴覚・運動・心身の成長・発達の確認や疾病の早期発見に努めることができた。また、むし歯の予防や育児に関する相談・助言を行い、幼児の健康の保持増進と育児支援を図ることができた。 過去3年間の受診率は96%前後</p> <p>平成23年度 受診者数 1,673人 決算額 6,354,713円 平成24年度 受診者数 1,660人 決算額 6,029,470円 平成25年度 受診者数 1,649人 決算額 6,430,154円</p> <p>【今後の課題・方向性】 母子保健法に基づいて実施しており、子どもの成長・発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており、今後も継続して実施する。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	6,029

評価結果	母子保健法に基づいて実施しており、子どもの成長と発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っているため、今後も継続して実施する。
------	---

健045	項目名	育児等健康支援事業費
------	-----	------------

主要な施策	育児等健康支援事業費	ページ	34	所属名
-------	------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	1,520

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 3
---------	-----

最終予算額	1,517
-------	-------

本年度決算額	1,219
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,219
計	1,219

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196  
 【9次総の施策体系】1101  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次 当初予算・P102 (健042)

【事業の概要】  
 母子の健康づくりや栄養管理、育児等について、グループワーク等の方法を用いて教室を実施することで、母子の愛着形成を促進し子どもの健やかな発達を促す。また、発達が気がかりな子どもやその保護者、育児不安を持つ母親等に対し、相談の場や親子のふれあいの場を設けて子どもの健全な発達を促し、育児不安の軽減を図る。

【事業の成果】  
 子育ての背景が時代とともに変わる中で、子育ての正しい知識を普及啓発するとともに育児不安を解消することで母子の孤立を防止する。また母子の愛着形成を促進し、子どもの健やかな成長・発達を促すことができた。

(延べ人数)			
幼児学級	平成23年度	23回	(207人)
	平成24年度	23回	(217人)
	平成25年度	22回	(250人)
地区健康教育	平成23年度	161回	(3,853人)
	平成24年度	144回	(2,965人)
	平成24年度	145回	(3,349人)
平成23年度決算額	1,886,334円		
平成24年度決算額	1,561,799円		
平成25年度決算額	1,219,155円		

【今後の課題・方向性】  
 保護者の育児不安を軽減し、子どもの健やかな成長・発達を支援するため。今後のさまざまなライフステージとその課題に応じた教育と相談を継続実施する。

(参考)

前年度決算額	1,562
--------	-------

評価結果	育児不安を軽減し、子どもの健やかな発育・発達を支援するため、今後もさまざまなライフステージとその課題に応じた教育と相談を継続実施する。
------	---

福祉保健部健康・子育て推進局  
 中央保健センター

健046	項目名	6歳臼歯保護推進事業費
------	-----	-------------

主要な施策	6歳臼歯保護推進事業費	ページ	34	所属名
-------	-------------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	1,277

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	1,277
-------	-------

本年度決算額	1,229
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,229
計	1,229

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P103 (健043)

【事業の概要】  
 年長児とその保護者を対象に、保育園・幼稚園を会場に、歯科医師による講話・歯科保健指導を行う。

【事業の成果】  
 全乳歯が生えそろい、第1大臼歯(6歳臼歯)の生え始める幼児期後期に、6歳臼歯の保護を目的とした歯の保健指導を実施し、生涯の歯の健康管理の意識付けを行うことで歯科保健水準の向上を図ることができた。

平成23年度	実施園	59園	参加人数	2,880人
	決算額			1,229,121円
平成24年度	実施園	59園	参加人数	2,923人
	決算額			1,250,026円
平成25年度	実施園	58園	参加人数	2,900人
	決算額			1,229,254円

【今後の課題・方向性】  
 6歳臼歯の生え始める機会に歯科保健についての意識付けを親子で行うことで生涯を通じた歯の健康づくりを継続して推進する。

(参考)

前年度決算額	1,250
--------	-------

評価結果	6歳臼歯の生え始める時期に親子で歯科保健について学び、生涯を通じた歯の健康づくりについて意識付けを図ることは重要であり、今後も継続が必要である。
------	--

福祉保健部健康・子育て推進局  
 中央保健センター

健047	項目名	2歳児歯科健診事業費
------	-----	------------

主要な施策	2歳児歯科健診事業費	ページ	34
-------	------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

事業の概要
-------

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

当初予算額	1,392
-------	-------

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	33
---------	----

最終予算額	1,425
-------	-------

本年度決算額	1,423
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	12
一般財源	1,411
計	1,423

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	12
その他	0

【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P103（健044）

【事業の概要】  
 1歳6か月から3歳までの間にむし歯の罹患率が急激に増える傾向があることから、東部歯科医師会と協議し、平成11年1月より2歳児歯科健診を開始した。歯科医師による診察、歯科衛生士による歯科保健指導及びフッ素塗布を行う。

【事業の成果】  
 2歳児は乳歯がほぼ生えそろう始めるが、間食や歯磨き等の生活習慣が不規則なため、むし歯になりやすい時期である。この時期に歯科健診・歯科保健指導を行うことにより、口腔の健康の保持増進を図る。この事業を開始して、むし歯罹患率は減少傾向になった。

平成23年度 受診者数 1,338人 決算額 1,272,015円  
 平成24年度 受診者数 1,390人 決算額 1,307,612円  
 平成25年度 受診者数 1,430人 決算額 1,423,333円

【今後の課題・方向性】  
 2歳児歯科健診の必要性やむし歯予防教育の重要性を継続して啓発する。

(参考)	
前年度決算額	1,308

評価結果	3歳児のむし歯罹患率は減少しているが、2歳から3歳にかけての年齢はむし歯罹患が急激に増える時期である。2歳児歯科健診の必要性やむし歯予防についての啓発を行うと共に本事業を継続実施する。
------	--

健048	項目名	2歳児フッ素塗布事業費
------	-----	-------------

主要な施策	2歳児フッ素塗布事業費	ページ	34
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	516

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	△ 32
---------	------

最終予算額	484
-------	-----

本年度決算額	465
--------	-----

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	465
計		465

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P104 (健045)</p> <p>【事業の概要】 2歳児歯科健診の受診者を対象に、生え始めの乳歯にフッ素を定期的に塗布することでむし歯を予防するために、平成12年度より2歳児フッ素塗布事業を開始した。</p> <p>【事業の成果】 生え初めて2～3年の乳歯は、エナメル質が未熟でむし歯になりやすい状態である。この時期にむし歯予防処置として、フッ素を継続的・定期的に塗布し保健指導を実施することで、乳歯の歯質の向上と保護者の口腔への関心を高め、むし歯予防を図ることができた。</p> <p>平成23年度 受診者数 2, 271人 決算額 461, 029円 平成24年度 受診者数 2, 350人 決算額 487, 513円 平成25年度 受診者数 2, 428人 決算額 465, 323円</p> <p>【今後の課題・方向性】 2歳から3歳にかけての時期はむし歯罹患率が急激に高まるため、2歳児歯科健診における歯科保健指導の充実と継続的なフッ素塗布の必要性を啓発していくことが必要である。</p>
---

(参考)	前年度決算額	488
------	--------	-----

評価結果	2歳から3歳にかけての時期はむし歯罹患率が急激に高まるため、2歳児の間に継続的なフッ素塗布と歯科保健指導の充実が必要であり、本事業を継続実施する。
------	---



健049	項目名	特定不妊治療助成事業費補助金
------	-----	----------------

主要な施策	特定不妊治療助成事業費	ページ	33
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

(単位:千円)	
当初予算額	10,000

補正予算額	3,975
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	13,975
-------	--------

本年度決算額	13,576
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	13,576
計	13,576

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【9次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P104 (健046)、8月補正予算・P16 (健004)</p> <p>【事業の概要】 鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった人に対して治療費の追加助成を行う。 (1) 助成金の額は、鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった費用から、鳥取県の助成金を控除した額又は5万円のいずれか低い額とする。 (2) 助成回数は1年度に2回(初年度については1年度に3回)を限度に通算5年度で10回までとする。 (3) (2)を超える回数の治療に対する助成金の額は、2万5千円を上限とする。</p> <p>【事業の成果】 経済的負担が原因で子どもを諦める夫婦がないように治療費を助成することで子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てる環境づくりの一助となっている。</p> <p>平成23年度 実156名(延244件) 決算額 10,356,169円 平成24年度 実170名(延295件) 決算額 13,126,854円 平成25年度 実179名(延380件) 決算額 13,576,262円</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続して実施していく。</p>
---

(参考)	
前年度決算額	13,127

評価結果	少子化対策の一環として、市民が安心して子どもを産める環境づくりは継続的に必要である。
------	--

健050	項目名	一般不妊治療助成事業費
------	-----	-------------

主要な施策	一般不妊治療助成事業費	ページ	33
-------	-------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	母子保健費

【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P105（健047）

【事業の概要】  
鳥取県の人工受精助成事業の対象となった人に対して治療費の2割を追加助成する。  
通算2カ年度助成する。（1年度上限4万円）

【事業の成果】  
保険適用とならない人工受精の費用の一部を助成することで、治療に係る経済的な負担を軽減することができた。

平成23年度	実53名（延56件）	決算額	508,682円
平成24年度	実65名（延70件）	決算額	568,196円
平成25年度	実57名（延59件）	決算額	487,441円

【今後の課題・方向性】  
市民が安心して子どもを産み育てる環境づくりを確保するために継続実施する。

(単位:千円)

当初予算額	540
-------	-----

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	540
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	487
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	487
計	487

(参考)

前年度決算額	568
--------	-----

評価結果	市民が安心して子どもを産み育てる環境を確保するために継続実施する。
------	-----------------------------------

健051	項目名	一類疾病予防接種費
------	-----	-----------

主要な施策	感染症予防接種費	ページ	34
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	予防費

(単位:千円)

当初予算額	270,121
-------	---------

補正予算額	△ 22,667
-------	----------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	247,454
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	214,141
--------	---------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	214,141
計	214,141

【問合せ先】 予防係 0857-20-3191

【9次総の施策体系】 3102

【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P105 (健048)

【事業の概要】  
 予防接種法第2条第2項 (A類疾病の指定)、第5条第1項 (定期予防接種の実施)、  
 予防接種法施行令第1条の2 (定期予防接種を行う疾病及び対象者) に基づき、集団接種  
 及び個別接種として実施。

【事業の成果】  
 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生  
 の向上及び増進に寄与することを目的として実施。  
 平成23年度 決算額 238,697,453円 (BCG1,799件、ポリオ  
 2,999件、三種混合7,036件、二種混合1,485件、MR  
 1期1,598件、2期1,671件、日本脳炎9,295件)  
 平成24年度 決算額 277,926,996円 (BCG1,666件、生ポリオ  
 857件、不活化ポリオ4,666件、三種混合5,801件、二種  
 混合1,487件、四種混合1,195件、MR1期1,784件、  
 2期1,683件、日本脳炎8,287件)  
 平成25年度 決算額 214,140,973円 (BCG1,293件、不活化  
 ポリオ1,876件、三種混合1,785件、二種混合1,218件、  
 四種混合5,216件、MR1期1,691件、MR2期1,693  
 件、日本脳炎6,483件)

【今後の課題・方向性】  
 今後、A類疾病に位置づけられる見込みのワクチンが複数あるため、制度改正に速やか  
 に対応し、事業を適切に実施していく。

(参考)

前年度決算額	277,927
--------	---------

評価結果	A類疾病に係る予防接種として、今後も適切に実施していく。
------	------------------------------

健052	項目名	二類疾病予防接種費
------	-----	-----------

主要な施策	感染症予防接種費	ページ	34	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	保健衛生費
目	予防費

(単位:千円)	
当初予算額	102,334

補正予算額	△ 868
-------	-------

予算流・充用額	△ 7
---------	-----

最終予算額	101,459
-------	---------

本年度決算額	97,075
--------	--------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	97,075
計	97,075

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】 予防係 0857-20-3191

【9次総の施策体系】 3102

【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P106 (健049)

【事業の概要】  
平成13年の予防接種法の改正により、インフルエンザは二類疾病に分類され、定期の予防接種を行うこととなった(平成25年度からB類疾病に名称変更)。予防接種法及び予防接種法施行令に基づき実施。  
25年度から新たに任意接種である重度の心身障がい者及び重症心身障がい児の接種についても費用助成を実施。

【事業の成果】  
対象者①満65歳以上の人  
②満60歳以上65歳未満の人のうち、心臓、腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する人及び人免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する人  
③重度の心身障がい者及び重症心身障がい児(25年度より)

委託先 鳥取県東部医師会会員が開設・管理する医療機関等

実績 平成23年度 決算額 104,198,395円  
接種者 31,150人(接種率68.3%)  
平成24年度 決算額 95,302,681円  
接種者 31,276人(接種率67.9%)  
平成25年度 決算額 97,075,338円  
接種者 32,625人(接種率66.7%)

【今後の課題・方向性】  
インフルエンザによる重症化を防止するために、継続して実施する。

(参考)	
前年度決算額	95,303

評価結果	B類疾病に係る予防接種として、今後も適切に実施していく。
------	------------------------------

福祉保健部健康・子育て推進局  
中央保健センター

健053	項目名	子宮頸がんワクチン予防接種費
------	-----	----------------

主要な施策	感染症予防接種費	ページ	34
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	予防費

【問合せ先】 予防係 0857-20-3191

【9次総の施策体系】 3102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P106（健050）

【事業の概要】  
 子宮頸がんの発生予防を図るため、予防接種法第2条第2項（A類疾病の指定）、第5条第1項（定期予防接種の実施）、予防接種法施行令第1条の2（定期予防接種を行う疾病及び対象者）に基づき、平成25年度から個別接種として実施。

【事業の成果】  
 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として実施。  
 対象者 中学1年生～高校1年生に相当する女子  
 実績 平成25年度 決算額 17,666,505円（946件）

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度に予防接種法のA類疾病に位置づけられ、定期接種となっているが、平成25年6月の厚生労働省勧告に基づき以後の積極的勧奨を差し控えている状況である。今後の国の動向を注視しながら適切に事業を実施する。

(単位:千円)

当初予算額	67,008
補正予算額	△120
予算流・充用額	0

最終予算額	66,888
本年度決算額	17,666

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	17,666
	計	17,666

(参考)

前年度決算額	58,716
--------	--------

評価結果	子宮頸がん予防ワクチンの接種に係る国の動向に注視し、適切に実施していく。
------	--------------------------------------

健054	項目名	ヒブワクチン予防接種費
------	-----	-------------

主要な施策	感染症予防接種費	ページ	34	所属名
-------	----------	-----	----	-----

年度	H25
----	-----

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	保健衛生費
目	予防費

(単位:千円)	
当初予算額	54,098

補正予算額	12,819
-------	--------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	66,917
-------	--------

本年度決算額	63,721
--------	--------

区分		決算額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	63,721
計		63,721

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】 予防係 0857-20-3191

【9次総の施策体系】 3102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P107 (健051)

【事業の概要】  
 乳幼児のインフルエンザ菌b型感染による細菌性髄膜炎の予防対策として、予防接種法第2条第2項(A類疾病の指定)、第5条第1項(定期予防接種の実施)、予防接種法施行令第1条の2(定期予防接種を行う疾病及び対象者)に基づき、平成25年度から個別接種として実施。

【事業の成果】  
 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として実施。  
 対象者 2か月～5歳未満の乳幼児  
 実績 平成25年度 決算額 63,720,811円(7,181件)

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度に予防接種法のA類疾病に位置づけられたことを受け、今後も適切に実施していく。

(参考)	
前年度決算額	60,693

評価結果	A類疾病に係る予防接種として、今後も適切に実施していく。
------	------------------------------

福祉保健部健康・子育て推進局  
 中央保健センター

健055	項目名	小児用肺炎球菌ワクチン予防接種費
------	-----	------------------

主要な施策	感染症予防接種費	ページ	34
-------	----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 中央保健センター
-----	----------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	衛生費
項	保健衛生費
目	予防費

(単位:千円)	
当初予算額	78,508

補正予算額	3,033
-------	-------

予算流・充用額	7
---------	---

最終予算額	81,548
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

本年度決算額	77,225
--------	--------

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	77,225
計	77,225	

【問合せ先】 予防係 0857-20-3191

【9次総の施策体系】 3102

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P107 (健052)

【事業の概要】  
 乳幼児の肺炎球菌感染症による細菌性髄膜炎の予防対策として、予防接種法第2条第2項(A類疾病の指定)、第5条第1項(定期予防接種の実施)、予防接種法施行令第1条の2(定期予防接種を行う疾病及び対象者)に基づき、平成25年度から個別接種として実施。

【事業の成果】  
 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として実施。  
 対象者 2か月～5歳未満の乳幼児  
 実績 平成25年度 決算額 77,224,727円(6,853件)

【今後の課題・方向性】  
 平成25年度に予防接種法のA類疾病に位置づけられたことを受け、今後も適切に実施していく。

(参考)	
前年度決算額	80,910

評価結果	A類疾病に係る予防接種として、今後も適切に実施していく。
------	------------------------------





健057	項目名	親子通所療育事業費
------	-----	-----------

主要な施策	児童発達支援事業費	ページ	31
-------	-----------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター
-----	----------------------------------

年度	H25
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

【問合せ先】発達支援係 0857-33-4012

【9次総の施策体系】1101

【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P108（健053）

【事業の概要】  
 乳幼児期の経過の中で、発達障がい疑いがあり、ある程度発達の見極めが得られた児とその保護者を対象に、児の発達の特徴をふまえた、保育士及び発達支援員による親子遊びの実践と、保護者の子育てに関する意見交換や勉強会を週1回のペースで実施する。

【事業の成果】  
 事業を毎週実施することで、子ども同士のふれあいと療育的な遊びにより、コミュニケーション能力や身体能力を高め、子どものより良い成長発達を促すことができている。また、保護者同士の交流や学習の場を提供することにより、子どもへの理解が深まり、子育てに対して自信が得られている。  
 平成25年度 292千円（41回、351組）

【今後の課題・方向性】  
 発達に困り感を抱える子どもに対し、療育を実施することで成長発達を促し、親の子ども理解を深める場として、継続して実施していく。

(単位:千円)

当初予算額	298
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	298
本年度決算額	292

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

区分	決算額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	292
計	292	

(参考)

前年度決算額	0
--------	---

評価結果	発達に困り感をかかえる児をもつ保護者にとって、就園前の家庭以外の小集団の場所として、他児との交流、親同士の交流を通し、児の発達理解や、将来を見通せる力をつけていくきっかけとなっている。今後も拡充をはかる。
------	--

健058	項目名	養育支援訪問事業費
------	-----	-----------

主要な施策	こども家庭支援事業費	ページ	31
-------	------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター
-----	----------------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	4,852

補正予算額	△ 120
-------	-------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	4,732
-------	-------

本年度決算額	4,702
--------	-------

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	2,174
地方債	0
その他	0
一般財源	2,528
計	4,702

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】家庭支援係 0857-20-0122  【9次総の施策体系】1101  【予算計上の経過】  予算事業別概要目次  当初予算・P108 (健054)  【事業の概要】  (1) 家庭訪問による支援  ア、若年での出産や養育者が産後うつ状態であったり子育てに対して強い不安や孤立感等を抱えているなど、特に支援を要する養育者及び児童に対する相談・支援  イ、児童養護施設等退所後の児童の家庭に対する養育相談・支援  (2) こども発達・家庭支援センターにおける心理相談  ア、妊婦や出産後間もない養育者に対するカウンセリング  イ、養育が十分に行われていない家庭の養育者及び児童に対するカウンセリング  ウ、児童養護施設等からの家庭復帰のためのカウンセリング  【事業の成果】  養育が十分でない家庭に対して家庭訪問及びカウンセリングを行い、養育者の育児不安の解消を図り、安心安全な子育てが行えるように相談・支援を行い、児童虐待につながらないように予防が図れた。  平成23年度 3,761千円 (訪問支援 19件、316回)  (カウンセリング 28人、138回)  平成24年度 3,827千円 (訪問支援 15件、304回)  (カウンセリング 36人、203回)  平成25年度 4,702千円 (訪問支援 19件、462回)  (カウンセリング 42人、228回)  【今後の課題・方向性】  事業導入している世帯の養育力は高まり、安心できる育児につながっている。事業の導入が必要な世帯の把握に努め、支援の拡充を図っていく。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	3,827

評価結果	児童の安心安全な成長発達を確保していくために、家庭内で養育者の養育が十分かつ適切に行われるように支援していく必要かつ重要な事業であり、今後も事業の導入が必要な世帯の把握に努め、支援の拡充を図っていく。
------	--

健059	項目名	親と子のすこやか推進事業費
------	-----	---------------

主要な施策	こども家庭支援事業費	ページ	31
-------	------------	-----	----

所属名	福祉保健部健康・子育て推進局 こども発達・家庭支援センター
-----	----------------------------------

年度	H25
----	-----

会計名	一般会計
款	民生費
項	児童福祉費
目	児童福祉総務費

(単位:千円)	
当初予算額	171

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	171
-------	-----

本年度決算額	150
--------	-----

区分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	150
計	150

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

<p><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】家庭支援係 0857-20-0122  【9次総の施策体系】1101  【予算計上の経過】  予算事業別概要目次  当初予算・P109 (健055)</p> <p>【事業の概要】  核家族化や地域の連帯関係が希薄化してきた現在、育児に対して悩んだり不安を抱いたままで、周囲に相談や協力を得られない家庭が増える傾向にある。保護者同士が情報交換や子育ての悩みなどを共有できる場を提供し、お互いの子育て体験を共有し、自己肯定感を高めることで、孤立した子育ての防止と安心した子育てが行われることの目的に実施。  また、子育て支援に関わる機関のスタッフに対する研修会を開催し、子育て支援の充実を図っていく。  (1) 「親と子の関係を考える会」の開催  (2) 児童虐待予防に関わるスタッフへの研修</p> <p>【事業の成果】  (1) 養育者(母)が、子どもと離れた場所でリラックスして、お互いの子育てに対する悩みや不安を語り合い、子育ての体験を共有することで安心感を持つことができ、前向きに育児を行えるようになっている。  平成23年度 158千円(12回、70人)  平成24年度 158千円(12回、62人)  平成25年度 150千円(12回、66人)</p> <p>【今後の課題・方向性】  子育てを支援していく機関として、職員のスキルアップを図り、育児の悩みや不安を抱える保護者への支援を行うとともに、子育ての体験を共有しながら自己肯定感を高めていく場を提供していく。</p>
--

(参考)	
前年度決算額	158

評価結果	事業に参加している間は、親と子は別々に離れ、親同士が子育て体験を共有しながら自己肯定感を高め、安心した育児が行えるように継続していく。また、子育て支援に関わる機関職員のスキルアップを図っていく。
------	---